滋賀県議会だより
第５号　H28.12

海東（かいとう） 英和（ひでかず）

海東英和県議会議員事務所　〒520-1501 高島市新旭町旭1-8-5　電話 0740-25-0777 FAX 0740-25-0778
Mail：web_info@hi-kaito.com　ホームページ http://hi-kaito.com

QRコード対応の携帯電話をお持ちの方は、画像を読み込み、サイトにアクセスしていただくことで、県政報告会の様子をご覧になれます。

８月８日　大阪・兵庫のそば打ち職人さんらが、日置前の太陽の道ロマンに惹かれ、そば播きに。日置前から見下ろす竹生島・伊吹山。その延長線上に並ぶ恵那山・富士山を想像しながら播種。酒波、日置前近辺は、古代史においても魅力満載です。

9月10日　2001年4月に新旭公民館で第1回全国菜の花サミットが開催され、来春の第17回大会は福島県南相馬市です。100haの復興菜の花畑を目指す種まき事業に参加。

県下一危険な白鬚前 工法決定を急げ！

県内で最も危ない白鬚前の改良工事が待たれている。琵琶湖側へ広げるか、山側トンネルか、高架か神社下をくぐるか選択肢は限られている。検討の進み具合はどうか。

今夏、勉強会から国県市と学識経験者、民間代表を加え、「高島市道路を活かしたまちづくり方針検討会議」を発足し年内方針決定をめざして検討を進めています。

白鬚前工法決定へ半歩前進

事業レビューシート提案

海東　国では、民主党の事業仕分け時の事業シート化や自民党の事業レビューシートの作成など、事業内容と予算が一目瞭然の工夫が進んでいます。同時に事業仕分けをして成果を上げているのは12県。構想日本と滋賀大学に実績があります。

滋賀県は、統一様式がなく、精査や比較がしにくいままです。分かりやすく整理し県民に公開して、オープンに議論できる環境が必要です。

事業レビューシート等を取り入れ、予算を大切に執行する滋賀県方式を整えられたい。

日爪総務部長　今後、検討します。

安曇川・鴨川事業促進 予算要望に同行

安曇川並びに鴨川の改修工事が災害が起こる前に進んでいくように、知事と滋賀県土木交通部長に石田哲会長と清水日出夫会長が、直接要望陳情をされました。実現に向け県議会の立場からも後押しをしていきます。

率先避難を

最新の統計から、秋から冬の雨が減り、集中豪雨が増え、総雨量が増える傾向が明らかになっています。防災力の向上に努めていますが、自然の猛威には勝てません。想定外の時の率先避難者になってください。

9月20日　石田川増水も避難準備警報発令

放射能が来る前に避難指示を

海東　現在の避難計画では、原発事故があって放射能が来てからモニターの数値を見て、屋内避難を基本に対応となっている。県独自の放射性物質拡散シミュレーションを活用し、放射能を浴びる前に逃げたい！逃がしたい！国の指針の上に、県民を守る放射能が来る前の政策を加えるべき。

現行ではモニタリングの実測値をもとに対応する計画である。

海東　国の指針順守であるのなら、消防団やＮＰＯなどの民間組織が県民を賢明に誘導する手法や率先避難者の養成を研究されたい。

10月30日　原子力防災避難訓練「被ばく線量を測る」

新旭駅バリアフリー化 エレベーター設計予算提案！

593万円　11月定例会

JR新旭駅バリアフリー化の設計予算が国の平成28年度補正予算に計上され、県も前倒しで予算化。12月議会で審議されます。今後は、29年度にまたがり設計が進み、その後工事着工の段取りです。

更に備えを

7月27日総合交通防災特別委員会で京都大学防災研究所を訪問し、琵琶湖周辺のひづみの観測内容等の説明を受けました。琵琶湖西岸断層にひづみが蓄積しています。備えをし憂いを減らす実践をお願いします。

耕運記

新旭公民館の有難うセレモニーをする間もなく解体が始まりました。これまで関わってこられた方々に感謝を捧げます。

新旭公民館は、昭和48年オイルショックの資材不足のなか、建設が始まり、大変な苦労を重ねて竣工したと聞いています。以後43年間、様々な社会教育活動が展開され、また、中学校の文化祭で青春の一ページを刻んだ人も少なくないと思います。婦人会や青年団でもお世話になりました。また、旭化成の宗兄弟を迎えてのマラソン大会、地雷をなくそう世界子どもサミット、ＭＯＭＯや安三さんの演劇公演他、地域文化が生まれる場でした。

豊かな人生とは、新しい自分を開く感動や、仲間との共感にあると思います。寿命が延びても、一人ひとりにそんな場がありますように。

メタセコイア並木が日経新聞の冬の訪れを感じる並木道10選で、神宮外苑の銀杏並木に次いで第2位に選ばれ大賑わいです。迷惑な駐停車について、県警に検討と警らを要請しています。ともに喜べ、高島ファンを増やす知恵を出し、課題を越えていきましょう。

九月に朽木温泉てんくうで開催された「近畿ブロック木の駅会議」では、間伐材をはじめ、森林資源の活用について相互研究されました。国の畜産クラスターの認定を受けられたことも含め農林畜水産業に新たなチャレンジの期待と政策支援の動きがあります。県も環境こだわりを進化させ、世界農業遺産を目指し動いています。農も福祉も未体験ゾーンに突入しています。

幾つになっても「できた！」「初めて！」の瞬間を持ち、自尊感を育てていきたい。寒くなってきました。心と体、温かくなさってくださいね。

10月１日
大師山さくら園運動会で